

県立病院等のトピックス

1 県立病院オープンホスピタル

県立病院では、県立病院への理解の促進と医療の担い手を確保するため、「オープンホスピタル」や「病院祭り」を開催し、地域住民との交流や学生等への職業紹介、職業体験等のイベントを開催しています。

今年度は、これまでに開催していた病院に加え、「三陸防災復興プロジェクト2019 関連事業」として沿岸地域の各県立病院で開催したほか、開院10周年となる中部病院等で新たに開催し、全体で11病院に拡充しイベントを開催しました。

各会場で、多くの参加者がある等、好評を得ており、来年度以降も継続して開催することとしています。

開催日	病院	備考
5月11日	県立中部病院	開院10周年記念事業
7月20日	県立宮古病院 県立大槌病院 県立釜石病院	三陸防災復興プロジェクト2019 関連事業
7月13日	県立遠野病院	
7月27日	県立久慈病院	三陸防災復興プロジェクト2019 関連事業
7月29日	県立山田病院	三陸防災復興プロジェクト2019 関連事業
8月5日	県立高田病院	三陸防災復興プロジェクト2019 関連事業
8月6日	県立大船渡病院	三陸防災復興プロジェクト2019 関連事業
8月24日	県立二戸病院	
10月14日	県立中央病院	予定

2 重度認知症デイ・ケア

県立一戸病院では、地域の医療ニーズを踏まえ地域包括ケア病床導入（平成31年4月）に併せ、県立病院では初めてとなる「重度認知症デイ・ケア」を開始しました。

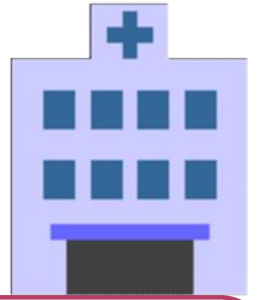
又、患者の生活機能改善や職員負担軽減を目的に、コミュニケーションロボット「PALRO（パルロ）」を平成30年12月に2体導入、病棟や外来での発音・発語等のケアや作業療法で活躍しています。





参加費無料

県立病院 オープンホスピタル



県立病院オープンホスピタルとは？

東日本大震災津波後に全国各地からいただいたご支援に対する**感謝の気持ち**と県立病院を**より身近に感じて**いただけるよう、**沿岸8つの県立病院等で様々なイベントを実施**いたします。

是非お気軽にご参加ください♪

職員一同、心よりお待ちしております♪♪

【イベント内容】

◇共通イベント

1. 東日本大震災津波からこれまでの県立病院のあゆみ（パネル展示）

◇オリジナルイベント

※事前申込が必要となる場合がありますので、ご不明な点は病院へ直接お問合せください。

1. 職種別業務体験

- ◎ 医師や看護師、薬剤師等様々な職種の業務体験ができるチャンス☆
- ◎ 参加者には、県立病院等のオリジナルバックをプレゼント♪

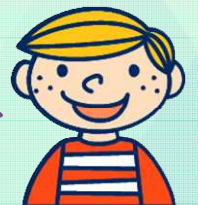
2. 職種別業務紹介

- ◎ 職種別のお仕事紹介と資料配布
- ◎ 奨学金制度、修学資金貸付制度等の資料配布



いろいろな仕事を体験したい♪
なりたい職業を探してみたい♪

病院ではどんな人が働いているの？
病院の中を探検してみたいな!!



みなさんの
病院に関する**ナゾ**にお答えします！



開催場所および日程等は裏面をチェック!!!



○開催場所○



左の8つの県立病院等で被災から復興までの県立病院等のあゆみを **パネル展示**します！

7つの県立病院では病院で働く職種の **業務体験、施設見学等**を実施します☆

会場には、県立病院に勤務している様々な職種の **業務紹介等の資料**を用意しています♪

イベント終了時には、病院の理解が深まり、さらには将来の夢までみつかるかも??



病院名	イベント名称	開催日	主なイベント（一例）	問い合わせ先
①久慈病院	久慈病院オープンホスピタル	7月27日（土）	①業務体験（静脈注射・沐浴等の模擬体験、3D画像処理体験など） ②院内施設見学 ③市民公開健康講演会	事務局総務課 TEL：0194-53-6131
②宮古病院	オープンホスピタル～探そう!!未来!!～	7月20日（土）	①業務体験（心臓マッサージ、内視鏡体験など） ②院内施設見学 ③機器のデモ展示	事務局総務課 TEL：0193-62-4011
③山田病院	岩手・三陸 山田病院まつり2019	7月29日（月）	①健康ウォーキング ②業務体験（内視鏡・超音波エコー体験など） ③健康教室	事務局 TEL：0193-82-2111
④大槌病院	「職場体験」～大槌の医療を支える病院職員をめざそう～	7月20日（土）	①院長講話 ②業務体験（模擬縫合体験、CT読影体験など） ③奨学金制度説明会	事務局 TEL：0193-42-2121
⑤釜石病院	県立釜石病院オープンホスピタル	7月20日（土）	①職種別業務紹介 ②業務体験（放射線撮影装置操作体験など） ③市民公開講座	事務局総務課 TEL：0193-25-2011
⑥大船渡病院	オープンホスピタル2019	8月6日（火）	①業務体験（手術実技体験など） ②職員からのメッセージ&座談会 ③院内施設見学	患者総合支援センター TEL：0192-26-1111
⑦住田地域診療センター	東日本大震災津波からこれまでの県立病院のあゆみ（※パネル展示のみ）	8月6日（火）	①パネル展示（復興までの8年間のあゆみ）	事務局 TEL：0192-46-3121
⑧高田病院	Let's GO 高田病院～病院のおしごと体験～	8月5日（月）	①業務体験（内視鏡体験、調剤体験など） ②支援者寄せ書き展示 ③再建状況パネル展示	事務局 TEL：0192-54-3221

いわて復興だより



三陸復興

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に東日本大震災津波が発生しました。発災以来、国内外から多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

がんばろう!岩手 つなごろう!岩手 第 152 号 令和元年 8 月号

「三陸防災復興プロジェクト 2019」クロージングセレモニー開催

陸前高田市
RIKUZENTAKATA

8月7日(水)、陸前高田市の夢アリーナたかたで、「三陸防災復興プロジェクト 2019」のクロージングセレモニーが開催され、6月1日(土)から68日間にわたって、岩手県沿岸地域の市町村を舞台として、復興の今と三陸の魅力を発信してきた三陸防災復興プロジェクト 2019 の全 22 事業が終了しました。

◀ クロージングセレモニー ▶



ストーリーテラー 村上弘明氏

県内外から約 1,300 人が参加したクロージングセレモニーでは、俳優の村上弘明さんがストーリーテラーを務め、会期中に実施した防災復興に関するシンポジウムをはじめ、お祭り、音楽、食、ジオパーク、観光などの多様な事業の実施状況を報告しました。

また、「未来への希望」と題したスピーチでは、高田高校の生徒らが「今できること、そして 10 年後、20 年後の未来を生み出すためのプランを実行できるよう、頑張っていきます。ここ陸前高田から、全国、そして世界へ発信できるような人になりたいと強く思っています。」と、未来への決意を生き生きと語りました。



高田高校 「未来への希望」スピーチ

その後のクロージング・コンサートでは、全日本合唱コンクール全国大会などで数々の輝かしい成績を収めている不来方高校音楽部による合唱のほか、復興支援などで気仙地域とのつながりの深い音楽家の坂本龍一さんが、自身が監督を務める東北ユースオーケストラとピアノ五重奏で共演し、聴衆は、その演奏に聞き入っていました。



不来方高校音楽部による合唱



クロージング・コンサート (ピアノ五重奏)

◀ 三陸防災復興プロジェクト 2019 ▶

三陸防災復興プロジェクト 2019 は、三陸沿岸地域を舞台に、長期間

にわたり多様な事業を行うという初めての試みでした。各事業の実施を通して、市町村、企業、団体、若者など多くの方々との「つながり」が強くなっていることを実感することができました。

8月7日をもって、三陸防災復興プロジェクト 2019 は閉幕しましたが、復興の取組は続きます。岩手県では、公式ホームページ (<https://sanriku2019.jp/>) において、引き続き、復興の今や岩手・三陸地域の魅力を伝えていきます。

今後も、より良い復興と岩手の未来に向かって歩みを進める岩手・三陸に是非お越しく下さい。



三陸防災復興シンポジウム



いわて絆まつり in 宮古 2019



さんりく音楽祭 2019
「佐渡裕さんとスーパーキッズ・オーケストラ」

いわて復興応援メルマガ会員大募集!

知って、買って、食べて、行って 応援!

登録無料



首都圏にお住まいの方を対象に、メルマガジン会員(いわて復興応援団員)を募集しています。登録していただいた方には岩手県の復興の取組や観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。

いわて復興応援団

検索



7月20日（土）、東日本大震災津波で被災し、閉鎖を余儀なくされていた宮古市の小港（こみなと）海水浴場と女遊戸（おなつべ）海水浴場、釜石市の根浜（ねばま）海岸、大船渡市の綾里（りょうり）海水浴場の4カ所で、震災後、9年ぶりに海開きが行われました。

このうち、根浜海岸では、津波により約1.3キロに渡り砂浜が流失してしまいましたが、岩手県が砂浜再生事業を進め、工事が完了した一部に海水浴場が開設されました。

海開き当日は、シュノーケリングやレスキューボート体験、漁船クルーズなど様々なプログラムで構成する「根浜海岸海あそび2019（主催：一般社団法人根浜MI ND）」も開催され、多くの家族連れや海水浴客で賑わいました。

今夏、県全体では13カ所の海水浴場が開設され、三陸の夏の賑わい再生に向けて新たな一歩を踏み出しました。



賑わいをみせる根浜海岸

東日本大震災津波で被災した釜石警察署、沿岸運転免許センター等の新庁舎が完成し、7月16日（火）から新庁舎での業務を開始しました。

釜石湾に面した同市嬉石（うれいし）町にあった旧庁舎は、津波で2階天井付近まで浸水し、その後は、市街地内陸部の仮設庁舎で業務を続けてきましたが、旧庁舎から内陸に約3キロ離れた同市中妻町の旧昭和園グラウンドに新庁舎が再建されました。

災害対策拠点の一つに位置づけられる新庁舎には、自家発電装置や大型貯水タンクなどが整備され、災害発生時には3日間電気と給水をまかなうことができます。

また、同庁舎には同じく被災した沿岸運転免許センター、交通機動隊沿岸分駐隊のほか、高速道路交通警察隊釜石分駐隊が併設され、沿岸地域の交通警察の拠点となっています。

県内では、東日本大震災津波で警察署や交番・駐在所、職員宿舎など21カ所の警察施設が被災しましたが、今回の新庁舎の完成により、全ての被災警察施設の整備が完了となりました。



釜石警察署等の新庁舎



落成式の様子

つなみ 世界へ、未来へ、「いわて TSUNAMI メモリアル」

東日本大震災津波の事実と教訓を伝える施設「東日本大震災津波伝承館」が
9月22日（日）にオープンします！

岩手県が陸前高田市の高田松原復興祈念公園内に整備を進めている「東日本大震災津波伝承館」（愛称：「いわて TSUNAMI（つなみ）メモリアル」）が、令和元年9月22日（日）にいよいよオープンします。

伝承館には、来館した方々の理解をより深めていただけるよう、展示物に関する説明や質疑応答を行う解説員が常駐します。

開館に向けた情報は、公式ホームページ等で発信していきますので、是非御覧ください。



高田松原復興祈念公園内に整備中の東日本大震災津波伝承館と道の駅

東日本大震災津波伝承館の概要

オープン日 ■ 令和元年9月22日（日）

開館時間 ■ 9時から17時まで

（最終入館時間16時30分）

※ オープン当日は、午前中にオープニングセレモニーを予定しており、一般入場は午後からとなる見込みです。

休館日 ■ 12月29日から翌年1月3日まで

※ 臨時の休館日は公式ホームページ等でお知らせします。

入館料 ■ 無料

公式ホームページ ■

<https://iwate-tsunami-memorial.jp/>



館内展示のイメージ



高田松原津波復興祈念公園の整備イメージ図

リポビタンDチャレンジカップ パシフィックネーションズ 2019 日本ラウンド 日本代表 VS フィジー代表 開催

釜石市
KAMAISHI

7月27日(土)、釜石鶴住居復興スタジアムにおいて、日本代表対フィジー代表の国際試合が行われ、県内外からスタジアムに訪れた約13,000人の観客は、両チームの闘志あふれるプレーを目の当たりにし、大いに盛り上がりました。

岩手県・釜石市は、東日本大震災津波の被災地で唯一のラグビーワールドカップ2019™日本大会の開催都市になります。

このスタジアムは、津波で被災した鶴住居小学校と釜石東中学校の跡地に建設され、「復興のシンボル」として世界中から注目を集めています。

ラグビーワールドカップ2019™の開催を絶好の機会と捉え、この日の両チームのように、力強くスクラムを組んで前に進んできた被災地の姿と、これまで世界中からいただいた支援への感謝を発信していきます。



試合開始前の国歌斉唱



両チームの闘志あふれるプレー

沿岸の県立病院等で 「オープンホスピタル」開催

7月20日(土)から8月6日(火)までの期間中、岩手県は、三陸防災復興プロジェクト2019の一環として、沿岸地域にある8つの県立病院等で「県立病院オープンホスピタル」を開催しました。

このイベントは、東日本大震災津波後に全国各地からいただいた支援への感謝の気持ちと、県立病院を身近に感じてもらうことで地域医療への理解を深めることを目的として開催したものです。

各病院では、東日本大震災津波からの県立病院等の復興までのあゆみがパネル展示されたほか、病院ごとにオリジナルイベントが行われ、内視鏡・超音波エコーなどの医療機器を使った体験や縫合、静脈注射の模擬体験、手術室や院内施設の見学などが行われ、地域の医療機関にふれあう機会となりました。



山田病院での手術室見学の様子



高田病院での内視鏡体験の様子



大槌病院での縫合体験の様子



さんりくイベント情報



EVENT

9/14

土

みやこ秋まつり

宮古市
MIYAKO

場所▶中心市街地
(末広町~中央通商店街)、
宮古駅前イベント広場など

9/15

日

市民参加の祭りとして昭和60年に始まったイベントで、豪華な飾り付けをした船山車が通りを運航して美しさを競うほか、市民による手踊りも披露されます。

問い合わせ▶陸中宮古青年会議所
☎ 0193-62-8458

9/14

土

山田の秋祭り

山田町
YAMADA

場所▶中央公園

9/16

月・祝

山田八幡宮と大杉神社の例大祭に合わせて開催されます。会場には神輿の行幸が立ち寄るほか、多数の出店や郷土芸能等のステージイベントも行われます。

問い合わせ▶山田の魅力発信実行委員会
(山田町商工会)
☎ 0193-82-2515

9/22

日

「さんりく物産館」

釜石市
KAMAISHI

場所▶釜石 PIT

9/25

水

ラグビーワールドカップ2019™のフィジー VS ウルグアイの試合前後の期間に、ファンゾーンで三陸の特産品の販売や観光PR等が行われます。

問い合わせ▶岩手県沿岸広域振興局経営企画部
産業振興室
☎ 0193-25-2718

9/14

土

東日本大震災 復興支援 熱気球イベント

大船渡市
OFUNATO

「空を見上げて in 大船渡 2019」

9/15

日

場所▶1日目(会場未定)
2日目(盛川河川敷公園)

東日本大震災で被災した子どもたちを元気づけようと、2011年8月にスタートしたイベントで、熱気球体験搭乗や、熱気球教室等が実施されます。

問い合わせ▶特定非営利活動法人熱気球運営機構
☎ 042-394-9078

9/20

金

大槌まつり

大槌町
OTSUCHI

場所▶大槌町内

9/22

日

各神社の神輿と郷土芸能団体が町内を練り歩く伝統行事で、大槌稲荷神社・小鏡神社の神輿渡御やステージイベントが行われるほか、神輿の海上渡御も予定されています。

問い合わせ▶大槌まつり実行委員会
(一般社団法人大槌町観光交流協会)
☎ 0193-42-5121

9/23

月・祝

三陸・大船渡 東京タワーさんま まつり

東京都
TOKYO

場所▶東京タワー駐車場特設会場

高さ333メートルの東京タワーにちなみ、3,333匹の炭火焼きさんまが振る舞われるほか、さんまのすり身汁2,000食の販売、大船渡市の特産品コーナー、郷土芸能公演などが行われます。

問い合わせ▶三陸・大船渡東京タワーさんま
まつり実行委員会
(一般社団法人大船渡市観光物産協会)
☎ 0192-21-1922



岩泉町の“道の駅いわいずみ”に隣接する「ふれあいらんど岩泉」は、大人から子どもまでアウトドアを満喫できる宿泊&レジャー施設です。

施設内には、実際に寝台特急の車両として運行していた「ブルートレイン日本海」を再利用した宿泊施設をはじめ、充実した設備を備えるコテージやトレーラーハウス、AC電源付きのオートキャンプ場を完備しています。

サンタリーハウスには、炊事場やトイレ、コインシャワーやコインランドリーを備え、施設内の「子どもの丘」には、ソリ滑りができる人工芝のグレンデや各種遊具が設置され、家族連れでも安心して楽しむことができます。

ふれあいらんど岩泉は、平成28年台風第10号により被害を受け平成29年3月に営業を再開しています。

現在、様々な趣向を凝らしホームページやブログ、インスタグラムなどで情報発信をしていますので、是非アクセスしてみてください。

■利用期間■

- ・コテージ・トレーラーハウス：通年
- ・ブルートレイン日本海：4月～11月
- ・オートキャンプ場：4月～10月

■予約・問い合わせ■

ふれあいらんど岩泉

☎ 0194-22-5211 (9:00～18:00)

■ホームページ■ <http://www.fureailand-iwaizumi.jp/>



オートキャンプ場



宿泊可能な「ブルートレイン日本海」

(写真提供：ふれあいらんど岩泉)



連載「いわてさんりくびと」では、被災地・三陸の復興に向け、熱い想いをもち、活躍する方々を紹介していきます。

第97回は、アシュリン・バリーさんを紹介します。

釜石市の国際交流に貢献

アイルランドで高校時代から日本語を学んでいたアシュリンさんは、勉強すればするほど日本への関心が高まり、大学在学中には京都に1年間留学しました。

大学卒業後の2017年7月、JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)で、釜石市に国際交流員として派遣されたアシュリンさんは「派遣先が釜石市に決まった時は岩手県のことは知らず、ネットで釜石市を調べると、東日本大震災津波の映像などが出てきて不安がりましたが、実際に来てみると落ち着いてマイペースで暮らすことができ満足しています」と釜石の印象を話します。

ラグビーワールドカップ2019™釜石開催に向けて、釜石市の国際交流活動を中心に幅広い



釜石市
ラグビーワールドカップ2019
推進本部事務局 国際交流員
Aisling Barry
(アシュリン・バリー)さん



Let's welcome
foreign visitors
to Iwate with a SMILE

業務に取り組むアシュリンさんは、「海外メディアや大使の対応もあり緊張することもあります。開催を楽しみにしています」と笑顔で話します。

楽しんで自分なりのおもてなしを

海外向けにFacebookやInstagramなどで、観光地だけでなく地元の隠れた魅力の情報発信も行うアシュリンさんは、ラグビーワールドカップ2019™開催時に外国人観光客を迎えられるよう市民に向けて英会話を教えるほか、飲食店のメニューの英語表記などをサポートしています。大会を間近に控え、「マナーや文化の違いがあると思いますが、言語の壁を気にせず自分なりのおもてなしで、楽しく迎えてほしいと思います」と釜石の皆さんにエールを送ります。

PROFILE

アイルランド コーク州出身。
現在、釜石市の国際交流員として釜石市のインバウンド対策に取り組むとともに魅力発信などを行う。

岩手県の被害状況

令和元年7月31日現在

- ▶人的被害 死者(直接死)：4,674人 行方不明者：1,113人
死者(関連死)：469人
- ▶建物被害(住家のみ、全半壊) 26,079棟

被害状況等の詳細
義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

検索

皆様のご支援、ありがとうございます

令和元年7月31日現在

- ▶義援金受付状況 約186億9,517万円(96,869件)
 - ▶寄付金受付状況 約200億1,794万円(9,068件)
 - ▶いわての学び希望基金(※)受付状況 約98億6,690万円(23,395件)
- ※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。



いわて震災津波アーカイブ～希望～
約24万点の資料を検索・閲覧できます。

[いわて震災津波アーカイブ](#)

検索



いわて復興だより [Web](#)

一部ニュース、いわてさんりくびとを動画で紹介しています。
ビジュアル豊富なWebもご覧ください。

